

刊夕日一月一十



定価一部金五銭... 発行所 常新日新聞社

石城を歩める

芭蕉翁の足跡

斧 青 三 郎

(下)

現在の御厩大黒天の國道をへて、東側には、大きな古沼が、亭々たる千年杉の間にもまらされて、ぬたと言ふ。

この大きな沼を圍む密林にも、秋がおとづれて、沼邊に重なる、落葉を踏みつゝ、大自然の秋の空氣の中に、渾然としてとけ合ふ、寂として聲なき、沈黙の石城の情景を詠じたるものであると語り、つゞいて、又僧の語る處によれば、前記二句の外に、

此道、や行く人なしの 秋の暮 と詠じたと言るのであつた。芭蕉晩年の作と言ふ、この一句の「此道や」の道は、石城の叢むら深き道に、し

ねぎ、魚等を料理したフラ イバンの臭氣を取るには、酢を少量いれて數分間熱すればよろしい

んみりした、人生を結んでゐるあたり、巨匠ならで、はよくせぬ藝術の至境であ

つまり、私達が通る形の上的道であり、又心の上の形なき道ともあり得る、現

ると思ふ。

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

【朝】すまし汁... 【晝】旨煮... 【暁】茶わんむし...

わ、松茸、みつば、へぎゆず

實に即して、やがて現實を超越してゐる道である。

一生の旅から旅へと、過した、芭蕉にとつて、「道」といふ言葉は複雑した感情をもつた言葉とも言える。

ともあれ、芭蕉の郷土に入るに及んでの、印象としての三つの作こそ、

旅にやんで、夢は 枯野をかけたがるの一句とともに永くこの地に存するを思えば、この里人の子として、少なからぬ、誇りさえも抱くのであらう。

八、一〇、三三、

常磐六藝

友へ

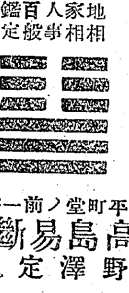
追へば答へぬ 飯村閑舟

親しさの 友よ... 影ひそむ

なさげに満つる わが胸を みだして破る ひやよか

友よ静かに かへりみよ...

そが誤れる心もて



十一月二日壬申七赤大安開

【一白】病難の凶報を受ける

【二黒】勞して功の起る日

【三碧】營業の起る日

【四綠】目下男女の心配の起る日

【五黄】金談縁談望事等皆吉

【六白】金談縁談望事等他人の應援を得る日

三井タクシー

平町二丁目 電話六八五番

品質第一

電話二六八番

平搾乳所

平町・九品寺前

雑夫募集

一年 年齢 十五才以上、五十五才迄にして住込みの出来得る方

姓名 在社

内科、小兒科、花柳病科 藤沼 醫院 入院需

お醤油は ヤマフル

醤油味噌 たひら 正宗 鯉節 食料品

山崎合名會社

福島縣平町 電話營業部三醸造工場七

萬雷の拍手に迎えられ堂々四隣を壓し非常時感激篇來る

オールトキー 賜天覽臺覽文部省御推薦の無上の光榮に 浴したる稀有の巨名篇

巨匠池田富保監作 文豪邊霞亭原作 一キー トルーオ式

大空の闘士 西部開拓... 絨上花を添えて同時上映の

將に來る！ 六日より!!! 聚樂館

本紙愛讀者各位の

「家運隆昌」を祈願 「身体堅護」を祈願

けふ創刊記念日に

縣社々頭に嚴肅な擧式

けふ本紙創刊十一回目の記念日に相當する處より今日の堅實な社礎は愛讀者並に廣告主各位の多年に亘る愛顧の賜と感謝の餘り本日午後四時川崎本社長夫妻が本社を代表し平町の氏神たる縣社子歛倉神社に參拜、山部神官擧式の許に愛讀者並びに廣告主各位の「家運隆昌」及び「身体堅護」の祈願をこめ報恩の微衷を披瀝すると。

古川改修

設計を急ぎ

縣技手が測量

平町及び附近水田を水害の危難より救ひ出すべく多大の期待を集中されて居る古川の改修は愈々縣に於いて設計を立てる事となり昨日北村縣土木技手一行來平し本日神長倉町土木技手の案内にて實地の測量を遂げた

昔鳴らした

平商校長の腕

生徒を向ふに廻して

大車輪の野球戦

既報平商では來る四日午前九時より職員及び生徒の野球大會を開催するが職員側メンバー左の如くであると

長澤川澤田野田原田
校宮武大泉矢新菅會
役捕一二三遊右中左

就職兒童

性能試験

岡部式で

既報平職業紹介所の就職希望兒童に關する協議會は昨

十二小學校の校長及び同代理二十餘名參集種々協議の結果從來性能検査を主として行つたのを今後は岡部式性能検査を主として行ふ事になつた尙來る十日より一週間の職業指導デーには平(聚樂館)小名濱(小學校)湯本(小學校)に於いて職業指導の講演並に映畫會を催しまた各小學校にポスター、チラシ等を配布宣傳し趣旨の徹底に努める事になつたと

平商生徒の

美術製作品

遠く長野縣に出陳

平商では來る十九、二十の兩日長野縣長野商業學校に於て開催される第二回全國商業學校美術展覽會に左の生徒作品を出陳すると
ポスター レッテル 包紙 レーベル チラシ
カレンダー 廣告意匠 手拭意匠

我れ劣らじと

劍道に大精進

試合は來る九日

警中對平商の劍道試合は來る九日午後一時より平商道場に於いて開催されるが兩校の出場選手は左の如くにて對校試合の事と一兩校共に我れ劣らじと猛練習を續けて居る

警中 平商

和田弘尚 山田定
草野實光 山田正直
作山友三 田中清
大平浩 郡司重雄
山形阜 草野忠悟

待望された

分團對抗野球は

十一日午前九時より開始

既報雨天其他種々の關係で延期されてゐた平町青年團主催の各分團對抗式野球大會は來る十二日午前九時より警中、平商、第一各球場に於て熊、阿部、佐藤、森の諸氏審判の下に引續き第三回戦より舉行する事になつたが當日の組合せは左の如くである

- A 紺屋町—長橋町
- B 三丁目—新川町
- C 南町—四丁目
- Aの勝者—十六區

川前農産

品評會開催

川前村農會では來る七日午前九時より同村小學校に農産物品評會を開催し郡農會青山技手で審査長として出席する

無念の

平商選手

神宮戦より歸る

既報晴れの明治神宮庭球大會に出場したダブルスは準々決勝、シングルが三回戦迄奮戦して惜しも敗れた平商の安島、木田兩君は府縣對抗にも準決勝戦で敗れを招

- 一、町有地特賣の件
- 一、青年訓練所指導員退職者慰勞金給與の件

川春代主演「大學の唄」
◇世界館 新興入江プロ入
江たか子、岡田時彦主演
『瀧の白糸』新興時代劇
嵐寛壽郎、歌川八重子主演
『富籤政談』

平町人事

回出生

△番匠町四十當時山梨縣南都留郡各村町下齊藤城充氏長男鬼子雄
△鎌田町五三當時東京市深川區千田町一三九君島時雄氏六男勝雄

回死亡

△田町四七當時東京市四谷區寺町一四高萩キンス五九

青訓主事

服裝を改正

既報石城郡聯合青年訓練所の主事會は本日午後一時より平第一校に於て開き左の件に就いて協議した

- 一、豫算決算に關する件
- 一、聯合演習に關する件
- 一、規則改正に關する件
- 一、主事の服裝改正に關する件
- 一、演習記念品贈呈に關する件

豊間農組總會

豊間村農業實行組合では五日午前九時より小學校に秋季總會を開き役員の改選を行ふ

常設館たより

◇平 館 日活時代劇大谷日出夫、鈴木京子主演『振分小平』ブリンシバル全發聲天然色映畫『海底』日活現代劇録水傳明、市

美味!
芳醇!

宗正らひた

山崎合名會社
電話一〇番

むね子一座

大當り

官級サリと捨て、平署オールキヤスト

珍藝續出

平署お手柄づくめの祝賀會
横山むね子一座と名乗る署員の隠し藝連發は昨日午後四時より谷口樓に公演、先づ横山署長の挨拶、青沼町長の謝辭型の如くあつて笛太鼓賑やかに開幕、笠原部長等の假裝チンドン屋が口上鮮やかに來賓の間を練り廻すをキツカケに大谷、桑原兩巡查のお祝萬歳を始め

丹精に報え

菊花一段と美裝

平第一校の内外に咲き誇る

平第二小學校では今春郡山小學校より金輝外二十種の菊苗を譲り受け先崎先生が指導して栽培中の處丹精の効あつて此程何れも見事に開花し馥郁たる香りは職員を始め児童達を樂ませてゐる

雨に祟られた

漸くけふ盛大に

雨天の爲め延期に延期を重ねて居た平第三小學校の秋

に榮轉する事となつたが後任は猪苗代署の巡查部長の渡邊定藏氏であると

女給の腕を斬る

平町鍛冶町支那料理富土方コック茨城縣東茨城郡上野合村生れ服部健治(三〇)は昨夜十二時頃同店女給佐藤ツメ(二〇)と些細の事から口論の末肉斬包丁で右腕に斬り

お辨當は此の通りにと

平第二小學校では来る十五日より三日間の榮養デーの機會を捉へ常に家事科の實習を受けて居る高等科第二學年生が主となつて兒童辨當を作り陳列會を催し一般父兄の參考として觀覽に供する由

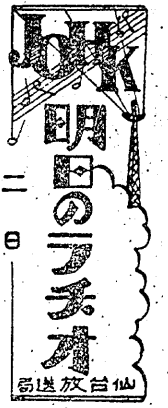
知らぬ他國にも警察の眼は光る

若さの無分別から駈落

茨城縣結城郡大花岡村字竹敷農豊次男加藤信次(三〇)は本春より結城町で女給福原トキ(九)と馴染を重ね知らぬ他國で愛の巢を營まうと去る廿九日親父の金二百四十圓を拐帶駈落したが石城の炭礦に居るらしいと本日平署に捜査方を願出た

江名産業映畫

町産業組合では来る七日午



今晚は北の風曇明日は北西の風天気良なる見込

今晩の部

後六〇〇 子供の時間
齊唱と獨唱 秋田市樂山尋常高等小學校兒童
後六二五 宗教講座「祈の心」河村巖
後七三〇 講演「西洋人の東洋研究と圖書蒐集」文學博士 柿崎正治

明日の部

更された

偉人の像

漸く出來上る
平第二校の偉人祭既報平第二小學校では郷土の偉人祭を催すべく過般來大越中佐、澤村勘兵衛、安藤對馬守の人物像を依頼作製中であつたが愈々此程出來上つたので來月中旬賑々しく開催すると

内村教諭家事指導

相双二郡へ

警女内村教諭は来る二十一日より二十九日迄縣視學委員として双葉郡廣野校を始め相双二郡に於ける各小學校の家事科指導の爲め出張する

坪刈褒賞

授與式變更

昨報平町農會の稻増收坪刈品評會賞品授與式は四日役場會議室で行はれる筈であつたが當日町會が開かれるので五日午後一時よりと變更された

裁判所がより

△双葉郡上岡村大字上手岡字杉内四八石工坂本勘助は(五)無免許で去月八日自宅に爆藥物カーリメット三本

前七〇〇 基礎ドイツ語講座 橋本忠夫
前七五〇 「選抜中等」及「大學」及「東京大學野球聯盟新人野球戦」神宮球場より中継
前九三〇 婦人講座「明治天皇と其御製」武島又次郎
後八〇〇 浪花節 東家鶴丈
後八三〇 俚謡と尺八 川島正子 相澤竹風外
後八五〇 黒川流能樂「紅葉狩」上野丹宮外
後九三〇 時報 ニューリス 氣象通報 番組豫告

△川部村大字山王字竹越三八農加茂チヨ(三)は去月二十四日午前九時焚火の不始末から失火し住宅一棟を焼失し失火罪として罰金二十圓に本日各平區裁判所に於て略式命令を以て處分された
△平區裁判所中島判事及び三堀檢察事は本日午前八時十九分にて吉田書記と共に郡山市上町自動車運轉手太田孟(三)に對する業務上過失傷害致死並過失列車妨害事件に關し實地檢證の爲め双葉郡末清トンネル入口に出張した
△双葉郡浪江町大字權現堂字上町六高松長壽が昨年十一月頃より十二月迄の間同郡大堀村大字井手澤山國有林内より栗生立木二百四十一本價格二百三圓餘を窃取した山林竊盜事件の公判は昨日午後一時より平區裁判所に於て中島判事係り清田檢察立會武田辯護士列席の下に開廷され事實訊問の上檢事より懲役四ヶ月罰金三

平職案紹介所報告
回人を求める方
△女中 二十以下 尋卒 月五圓(平町某)
△農夫 三十迄 委細面談 (鹿島村某)
△雜役 二十五迄 委細面談(江名町某)
△車力 三十以下 尋卒 日給七十錢(平町某)
回職を求める方
△コック 三十二才 高卒 給料面談(田村郡某)
△給仕 十八才 實業補習卒 給料面談(渡邊村某)
△雜夫 四十二才 尋卒 給料面談(内郷村某)
△土工夫 二十三才 商業半退(内郷村某)
△事務員 二十四才 早大 専門部卒 給料面談(平町某)

児童「笑ふお人形」松美佐雄
後六二五 英語講座 源馬次郎
後七三〇 講演「新たに明治天皇を偲び奉りて」三上參次
後八一〇 漫談「醫殿」徳永天露
後八四五 「萬歳お國訛と物真似」松の屋錦水、河内國春
後九〇五 清元「保名」清元小喜久太夫外



【禁無斷轉載上演映畫】

寶井馬琴 演
山本英春 畫

第七十九回

血に飢ゆる村正

亂暴極まる振舞

次郎左衛門は身受をしやうとふ花魁と手を切らうといふ榮之丞が列んで何やらヒソヒソ話には障れど素知らぬ顔

阿「エー御大盡へ申上ます彼に居りますのが實生榮之丞様でございます、お近附きを願ひたう存じます」

次「是は貴郎が榮之丞殿でございますか、私は佐野船橋の絹商人次郎左衛門と申す者御厚情を願ひます」

榮「ア、お前が佐野の次郎左衛門と申す御方か、初めて御目に掛ります」

と大風な挨拶が癪には障れど、次郎左衛門向ふは根が侍だと聞いて居れば別にとがめる譯にも行かずモジ／＼して居る、其中に傍に見て居た阿波太夫は茲ぞと思ひ、

阿「ヘエ旦那、左様なら先刻御話し申した金子をお渡しを願ひます」

次「承知致しました」と傍わきにより取出したる三百兩、盆の上へ載せて榮之丞の前へ差置き

次「お話は阿波太夫から御聞き取りでもございませうが、八ッ橋が身受けを致し



つた氣になつて金と書付を引替にする氣か、固より八ッ橋と拙者の中は昨日や今日の事ではない、夫を強てと申すから三百兩取つて遣はずに書付を出さなければ金子は渡さんと云ふのか」

右次衛門、お仲と連印でございまして名宛は次郎左衛門様といたしました、此の證文を阿波太夫から次郎左衛門へ渡すと次郎左衛門は碌に見も致しませんで、疊んで紙入へ入れて了ひました、其の中に酒肴が十分に

え貰つて置きます」と不承々に三百兩受取りました

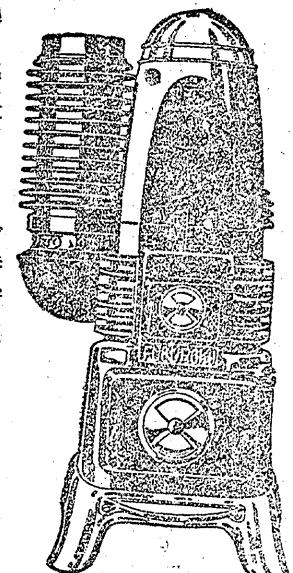
と云ひながら目で見知らし阿波太夫や丸善お仲と相談づくめでございませうから目

善「其の鬱暗しに、榮さんの様な御方と楽しみでもしなけりやア片時も苦海の勤めは出来ませうまい」

美味で！ 評判の... サロン 電 352

木村科醫院 平町五丁目橋際 電話九〇三番

絶對煙筒掃除の要なき 完全無缺の理想的 日本一の フクロク、ストーブ



發賣元 平驛前 阿部石炭商店 電話三七番

玉屋洋品店 平町田町通電話六五六番

木村病院 平町新川町十九 電話一六四番